

## 1: 化学品及び会社情報

製品名	NEB 10-beta Competent E.coli (High Efficiency)
製品番号	C3019
登録番号	情報なし

### 安全データシートの供給者の詳細

#### 供給者

ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン株式会社  
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビル第  
2-03-5669-6195  
tech.jp@neb.com

緊急連絡電話番号 03-5669-6191

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	情報なし
推奨されない用途	情報なし

## 2: 危険有害性の要約

### GHS 分類

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
生殖毒性	区分 1B

### ラベル要素



注意喚起語 危険  
危険有害性情報  
強い眼刺激  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

### 注意書き

- 予防
- ・使用前に取扱説明書を入手すること
  - ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
  - ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること
  - ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと

## 対応

- ばく露又はばく露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること

## 保管

- 施錠して保管すること

## 廃棄

- 内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

**3: 組成及び成分情報**

## 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名	CAS番号	重量%	ENCS Inventory	化審法番号	ISHL Inventory	安衛法番号
Dimethyl Sulfoxide	67-68-5	0 - 10%	Existing	(2)-1553	Existing	Present (2)-1553 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)
Calcium Chloride	10043-52-4	0 - 10%	Existing	(1)-176	Existing	Present (1)-176 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)
企業秘密	企業秘密	0 - 10%	Existing	(1)-235	Existing	Present (1)-235 (ENCS inventory number, considered an existing substance based on the Industrial Safety and Health Law)

## 化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

## 労働安全衛生法

## 通知対象物質

安衛法通知対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生規則第34条の2の4関係)

化学名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
企業秘密		通知対象物質	550	<10

## 表示物質

該当しない

毒物及び劇物取締法  
該当しない

#### 4: 応急措置

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。
吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚接触	皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。
眼接触	上下のまぶた(眼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
経口	水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。
症状	灼熱感。
応急措置をする者の保護	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

#### 5: 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告: 消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

#### 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。指定された個人保護具を使用すること。
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次危険有害性の予防	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

## 7: 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

**安全取扱注意事項** 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。

**一般的な衛生注意事項** この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前および製品の取扱い直後に手を洗うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。

### 保管

**安全な保管条件** 施錠して保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

## 8: ばく露防止及び保護措置

**技術的対策** シャワー  
洗眼場  
換気システム。

### 許容濃度

化学名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
企業秘密	TWA: 0.2 mg/m <sup>3</sup> ISHL/ACL: 0.2 mg/m <sup>3</sup>	0.2mg/m <sup>3</sup>	TWA: 0.02 mg/m <sup>3</sup> Mn respirable particulate matter TWA: 0.1 mg/m <sup>3</sup> Mn inhalable particulate matter

### 生物学的職業性ばく露限界値

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

**環境ばく露防止** 情報なし。

### 個人用保護具 [ PPE ]

**呼吸用保護具** 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。

**手の保護具** 適切な手袋を着用する。

**眼 / 顔の保護具** 薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用すること。

**皮膚及び身体の保護具** 適切な保護衣を着用する。

## 9: 物理的及び化学的性質

### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	無色	
物理的状态	液体	
色	情報なし	
臭い	なし	
臭いのしきい値	情報なし	
<b>特性</b>	<b>値</b>	<b>備考・方法</b>
融点 / 凝固点		情報なし
沸点 / 沸点範囲		情報なし
燃焼性(固体、気体)		情報なし
燃焼又は爆発の上限/下限		
可燃性又は爆発性の上限		
燃焼又は爆発の下限		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火温度	215 °C / 419 °F	
分解温度		情報なし
pH	7.5	
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
分配係数(n-オクタノール/水)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度		情報なし
相対密度		情報なし
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない
<b>その他の情報</b>		
爆発性	情報なし	
酸化特性	情報なし	

## 10: 安定性及び反応性

安定性及び反応性	情報なし.
安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応危険性	通常のプロセスではない.
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし.
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし.
<b>爆発データ</b>	
静電放電に対する感度	なし.
機械的衝撃に対する感度	なし.

## 11: 有害性情報

### 急性毒性

## 毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている mg/kg

混合物の0%は急性経口毒性が未知の成分から成る  
 混合物の0%は急性経皮毒性が未知の成分から成る  
 混合物の12.68%は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る  
 混合物の12.68%は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る  
 混合物の12.68%は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Dimethyl Sulfoxide	= 28300 mg/kg ( Rat ) = 14500 mg/kg ( Rat )	= 40 g/kg ( Rat )	> 5.33 mg/L ( Rat ) 4 h
Calcium Chloride	= 1000 mg/kg ( Rat )	> 5000 mg/kg ( Rabbit )	-
企業秘密	= 250 mg/kg ( Rat )	-	-

## 略語及び頭文字

Rat: ラット

Rabbit: ウサギ

## 症状

眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

## 製品情報

## 経口

この化学物質または混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

## 吸入

この化学物質または混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。

## 皮膚接触

この化学物質または混合物の特定試験データはない。刺激のおそれ。長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

## 眼接触

この化学物質または混合物の特定試験データはない。強い眼刺激。(成分に基づく)。発赤、掻痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。

## 皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚刺激のおそれ。

## 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。強い眼刺激。

## 呼吸器感受性又は皮膚感受性

情報なし。

## 生殖細胞変異原性

情報なし。

## 発がん性

情報なし。

## 生殖毒性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。

## 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露

情報なし。

## 特定標的臓器毒性 - 反復ばく露

情報なし。

## 誤えん有害性

情報なし。

## 12: 環境影響情報

## 生態毒性

## 未知の危険有害性物質の濃度

混合物の.?%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

化学名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
Dimethyl Sulfoxide	EC50: 12350 - 25500mg/L (96h, Skeletonema costatum)	LC50: 33 - 37g/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: =41.7g/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: >40g/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =34000mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50: =7000mg/L (24h, Daphnia species)
Calcium Chloride	-	LC50: =10650mg/L (96h, Lepomis macrochirus)	LC50: 2280000 - 3948000µg/L (48h, Daphnia magna)

残留性・分解性 情報なし。  
 生体蓄積性 この製品のデータはない。

**成分情報**

化学名	分配係数
Dimethyl Sulfoxide 67-68-5	-2.03

他の有害影響 情報なし。

**13: 廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。  
 汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

**14: 輸送上の注意**

IMDG 規制対象外  
ADR 規制対象外  
IATA 規制対象外  
日本 規制対象外

**15: 適用法令**国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

安衛法通知対象物質: 労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生規則第34条の2の4関係)

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造棟の規制に関する法律(化審法)  
該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

水道法第4条、水質管理目標設定項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4段落で定める揮発性有機化合物

大気汚染防止法第2条、第1段落、第3項及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AICS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

## 16: その他の情報

改訂日

10-2-2020

改訂記録

情報なし。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA

TWA(時間加重平均)

天井値

最大限界値

\*

皮膚兆候

+

感作性物質



**本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源**

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)  
米国環境保護庁ChemViewデータベース  
欧州化学品局  
欧州食品安全機関(EFSA)  
EPA (環境保護庁)  
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)  
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
米国環境保護庁高生産量化学物質  
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
危険有害性物質データベース  
国際統一化学情報データベース(IUCLID)  
日本GHS分類  
国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)  
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)  
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)  
National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)  
米国国家毒性プログラム(NTP)  
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)  
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
世界保健機構

**免責事項**

このSDSは、JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

**安全データシートのおわり**